

平山郁夫作品の版画展

豊橋 シルクロード関連など40点

文化勲章受章者で日本美術院理事長などを務めた日本画家の故・平山郁夫さん(一九三〇～二〇〇九年)の版画展が十日、豊橋市民文化会館(向山大池町)で始まった。十三日まで。豊橋ユネスコ協会の主催。

平山さんは十五歳だった四五年に広島で被爆し、平和への祈りを込め、創作活動を続けてきた。国連教育科学文化機関(ユネスコ)の親善大使として、バミヤンの遺跡など文化遺産の保存に尽力。シルクロード



平山さんの作品について話す渡辺会長＝豊橋市向山大池町の市民文化会館で

を百回以上訪ね、現地の文化を描いた。民間ユネスコ活動の先駆者として、平和教育にも尽力した。

平山さんの作品を版画にした四十点を出品した。ラクダに乗った女性たちが静かに進む代表作「パルミラ遺跡を行く」をはじめ、シルクロードと仏教伝来にまつわる作品が多い。豊橋ユネスコ協会の渡辺正会長(左)は「日本画の技術を用いて、仏教など社会文化の伝来を描いている作品はどれも魅力的」と来場を呼び掛けている。

平山さん以外の国内の画家や書道家の作品二十点も並ぶ。いずれも販売されており、売上金は日本ユネスコ協会連盟を通じ、東日本大震災で被災した子どもたちの学習支援に充てる。

(昆野夏子)

迫力の平山ワールド身近に

豊橋ユネスコ協会 13日まで平山郁夫版画展

豊橋ユネスコ協会が10日、豊橋市向山大池町の豊橋市民文化会館で、15周年記念事業「シルクロード・仏教伝来平和への祈り 平山郁夫版画展」を始めた。13日まで。

(大林恭子)

現代日本画壇の最高峰として知られる平山氏の作品を、飾りやすい大きさの版画にしたもの45点を

見ることができ。2000年前の風景を眼前に見るような臨場感がある「パルミラ遺跡を行く

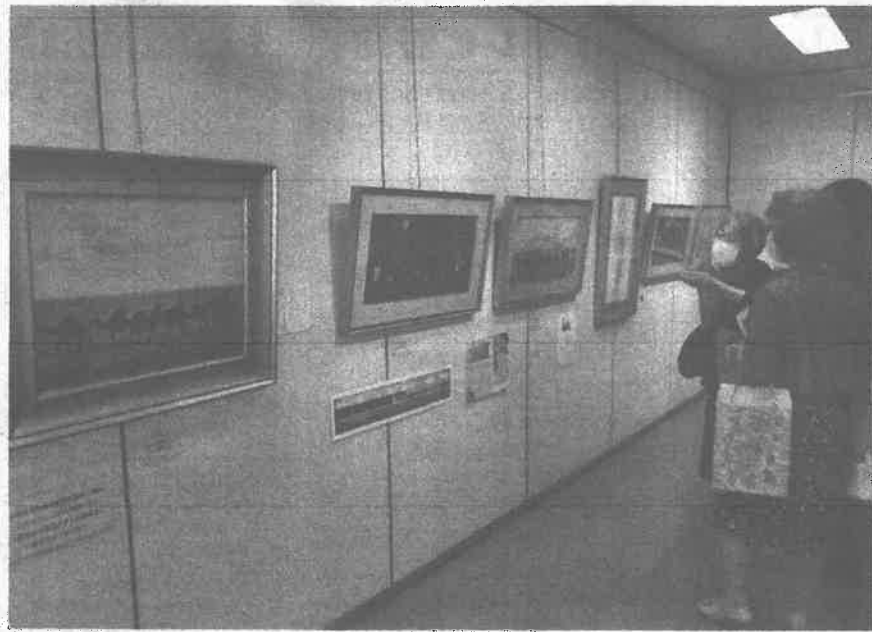
かけつけた。

作品は会場で注文でき、収益は同協会の活動支援に活用される。渡邊正会長は「平山画伯はユネスコ親善大使として活躍され、地域のユネスコ活動への理解も深かった。その作品世界を多くの人に楽しんでいただきたい」と話す。

会場では特別企画として「日本美術名作選」も開催されている。



多くのファンが集まった会場 (豊橋市民文化会館で)



平山郁夫氏の版画並ぶ

13日まで
市民文化会館
名作の複製作品を展示販売

豊橋ユネスコ協会

戦争遺産の紹介や平和活動などを続ける「豊橋ユネスコ協会」主催の「平山郁夫版画展」（東豊新聞社など後援）が10日、豊橋市民文化会館で始まった。13日まで。

来年15周年を迎えることから、記念事業の資金確保の一助にと開催。平

山郁夫の複製版画が並ぶ。豊橋市民文化会館で

山が描いた「仏教伝来」「シルクロードを行くキヤラバン」「パルミラ遺跡を行く」など40点の複製版画を展示販売している。原画の雰囲気を感じさせ、悠久の時間を堪能できる版画。家に飾るサイズに調整した。

横山大観、東山魁夷、上村松園らの複製版画も並ぶ。また同協会の活動を紹介するパネル展示も

あり、学校での取り組みや会が発行した戦争遺産のパンフレットなどを掲示する。

会長の渡邊正さんは「平山さんは画家として有名ですが、鎌倉ユネスコ協会長として地域のユネスコ活動にも尽力された。見るだけでも良いので会場に足を運んでください」と話した。

【竹下貴信】

迫力の平山ワールド身近に

豊橋ユネスコ協会 13日まで平山郁夫版画展

豊橋ユネスコ協会が10日、豊橋市向山大池町の豊橋市民文化会館で、15周年記念事業「シルクロード・仏教伝来平和への祈り 平山郁夫版画展」を始めた。13日まで。

(大林恭子)

現代日本画壇の最高峰として知られる平山氏の作品を、飾りやすい大きさの版画にしたもの45点を

見ることができ、2000年前の風景を眼前に見るような臨場感がある「パルミラ遺跡に行く

朝」や、タクラマカン砂漠を進む隊商を描いた「絲綢之路 天空」など、静謐(せいひつ)でありながら迫力のある平山ワールドを身近に感じることができ、豊橋では珍しい大規模な版画展とあって、午前9時30分の開場から多くのファンが

かけつけた。

作品は会場で注文でき、収益は同協会の活動支援に活用される。渡邊正会長は「平山画伯はユネスコ親善大使として活躍され、地域のユネスコ活動への理解も深かった。その作品世界を多くの人に楽しんでいただきたい」と話す。

会場では特別企画として「日本美術名作選」も開催されている。



多くのファンが集まった会場 (豊橋市民文化会館で)